

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—174272

⑤ Int. Cl.³

B 62 D 3/12

F 16 H 19/04

識別記号

庁内整理番号

2123—3D

7812—3J

③ 公開 昭和57年(1982)11月2日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

④ 舵取り装置

① 実 願 昭56—62867

② 出 願 昭56(1981)4月30日

⑦ 考 案 者 木崎純二郎

東松山市美土里町2—28

⑧ 出 願 人 自動車機器株式会社

東京都渋谷区代々木2丁目10番
12号

⑨ 代 理 人 弁理士 山川政樹 外1名

⑥ 実用新案登録請求の範囲

ハンドル操作に伴って回転するピニオンと噛合し軸線方向に移動して舵取り輪を旋回させるラックと、このラックを軸線方向に摺動自在に支持するラック支持部材とを備えたラックピニオン型の舵取り装置において、前記ラックはピニオン歯部に噛合するラック歯部下面側で下方に向つて収束する一対の傾斜面を有し、前記ラック支持部材は、前記ラック下部を支持して軸線方向に案内する案内溝を有する金属製支持体と、この金属製支持体の案内溝内壁部に密着して接合され前記ラックの各傾斜面を支持案内するガイド面を有する薄肉状の樹脂製パッドとからなり、この樹脂製パッドは各ガイド面の裏面側の一部および下端部に突設された突設部が前記案内溝内壁部に設けられた溝部に係入されることによつて金属製支持体に一体的に組付けられていることを特徴とした舵取り装置。

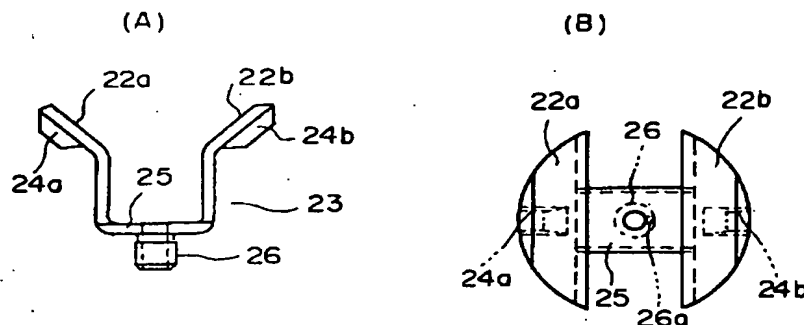
置。

図面の簡単な説明

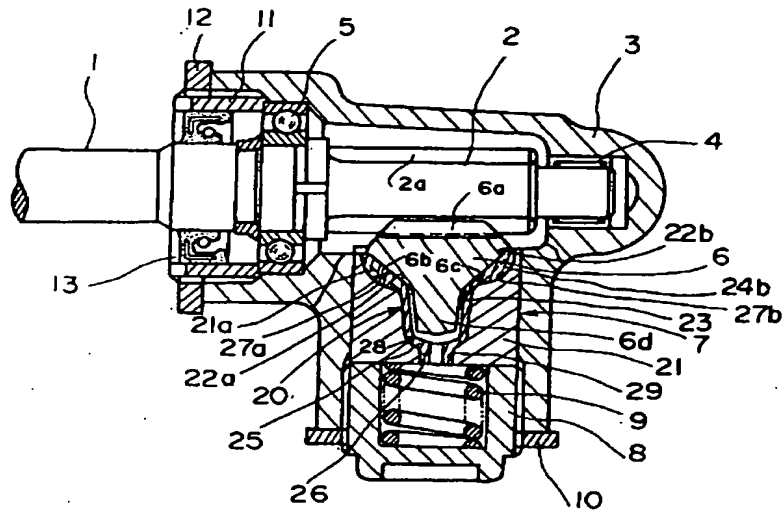
第1図は本考案を適用したラックピニオン型舵取り装置の一実施例を示す一部省略縦断側面図、第2図はその要部とするラック支持部材を示す分解斜視図、第3図A、Bは同じくラック支持部材を構成する樹脂製パッドの側面図および平面図である。

1……ピニオン軸、2……ピニオン、2a……ピニオン歯部、6……ラック、6a……ラック歯部、6b、6c……一対の傾斜面、7……ラック支持部材、20……案内溝、21……金属製支持体、22a、22b……一対のガイド面、23……樹脂製パッド、24a、24b……係止突起、25……底板部、26……円筒部、26a……スリット、27a、27b……係止溝、28……凹陥部、29……嵌合孔。

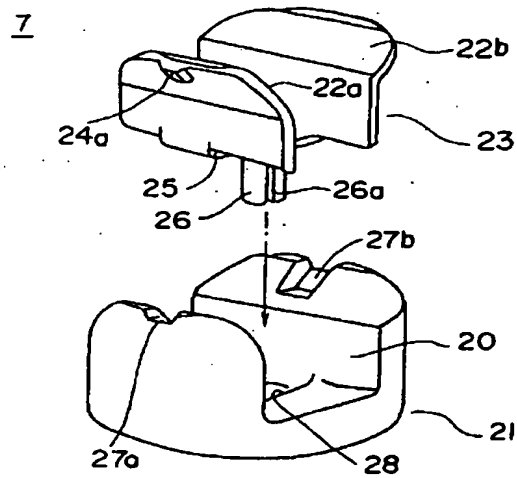
第3図



第1図



第2図



補正 昭56. 10. 20

実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑤実用新案登録請求の範囲

ハンドル操作に伴って回転するビニオンと噛合し軸線方向に移動して舵取り輪を旋回させるラックと、このラックを軸線方向に摺動自在に支持するラック支持部材とを備えたラックビニオン型の舵取り装置において、前記ラックはビニオン歯部に噛合するラック歯部下面側で下方に向つて収束する一対の傾斜面を有し、前記ラック支持部材は、

前記ラック下部を支持して軸線方向に案内する案内溝を有する金属製支持体と、この金属製支持体の案内溝内壁部に密着して接合され前記ラックの各傾斜面を支持案内するガイド面を有する薄肉状の樹脂製パッドとからなり、この樹脂製パッドは各ガイド面の裏面側の一部および下端部に突設された突起部が前記案内溝内壁部に設けられた溝部に係入されることによつて金属製支持体に一体的に組付けられていることを特徴とした舵取り装置。